

日本の知恵、
プラスチックの知恵

織姫と彦星に願いを込めた、夏の行事



国立国会図書館所蔵

七夕は、無病息災や技芸の上達などを祈る星祭であるとともに、お盆前に祖先を迎える準備と暑い夏を無事に越すための行事でもありました。信州の松本や近畿の姫路では、笹飾りと一緒に紙や布の織姫と彦星を模した七夕人形を竿竹に吊り下げ、団子、夏野菜、果物を供えて、暑氣払いをする風習が残っています。

七夕人形には二つの系譜があり、ひとつは奈良時代に中国から七夕伝説が伝来した際に、女の子が手芸・裁縫などの上達を願い、板状の人形に着物を着せた「着物掛け人形」を飾る宮中節会せまゑとなりました。もうひとつは、小さな人形ひとがたに名前を書き、海や川へ流して厄を祓う「流しびな」の行事になりました。どちらも子どもの成長を祈り、家族の無病息災や招福を願うやさしい想いが伝わってきます。

家族の無事を祈りながら手作りの七夕人形を飾る願いに似て、人々の健やかな健康を願って検査診断・創薬・再生医療に貢献するのが住友ベークライトのバイオ関連製品・技術です。それは材料設計とプラスチック加工という二つの技術力によって、日々の積み重ねの上に確立されています。

七夕人形

たなばたにんぎょう



プラスチックのパイオニア
住友ベークライト株式会社

ヘルスケア営業本部

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル
TEL:03-5462-4111 FAX:03-5462-4873 <https://www.sumibe.co.jp>

